



子ども虐待防止 オレンジリボン運動 公式ポスターコンテスト2012

主 旨

平成22年度、全国の児童相談所での子ども虐待相談の処理件数は、年間で5万5千件を超えてしまいました。現在、1週間にひとりの子どもたちが虐待により尊い命を失っています。虐待のない社会を築くには、市民のネットワークが大きな力になります。そこで、多くの方々に、この問題に関心を持っていただくキッカケになればとの思いから、「オレンジリボン運動公式ポスターコンテスト」を開催しています。

募 集 要 項

●贈賞関係

公式ポスターの部	最優秀作品賞1名	賞状 賞金10万円
	優秀作品賞2名	賞状 賞金3万円
共催企業・団体の部	企業賞(各共催毎)	賞状 記念品
	特別賞 東京都福祉保健局長賞	賞状 記念品
参加賞	1次審査通過者約200名に公式オレンジリボンストラップを贈呈します。	

〈共催〉

公益財団法人SBI子ども希望財団、フィリップ モリス ジャパン株式会社、日本アムウェイ合同会社、日本労働組合総連合会、グローバルサービス、一般社団法人日本ベビーダンス協会、大和商事株式会社

●使用用途

最優秀作品については、児童虐待防止全国ネットワークが使用する2012年度啓発ポスター・チラシに使用いたします。また、特別賞として共催企業・団体より選ばれた作品は、その企業・団体が独自に使用いたします。

●審査委員

東京芸術大学 美術学部教授 河北秀也
全国児童養護施設協議会 会長 加賀美尤祥
株式会社シークルーズ クリエイティブディレクター 渡邊育雄
読売新聞東京本社 社会保障部 部長 田中秀一
児童虐待防止全国ネットワーク 理事長 吉田恒雄
児童虐待防止全国ネットワーク 副理事長 椎名篤子
※特別賞は各共催企業・団体様にて選定をいたします。

●応募資格

Adobe IllustratorまたはPhotoshopが入稿形式になるため、前述データで制作が可能な方が対象となります。

●応募方法

コンテスト詳細・応募方法はオレンジリボン運動ホームページへ
<http://www.orangeribbon.jp>より
コンテストのバナーを 

●応募締切

2012年5月31日まで

●結果発表

・「オレンジリボン公式サイト」(7月中旬)
・共催企業ホームページ特設ページ(7月中旬)
※選ばれたご本人には郵送で通知を致します。

●お問い合わせ先

NPO法人 児童虐待防止全国ネットワーク
公式ポスターコンテスト事務局
〒156-0043 東京都世田谷区松原1-38-19 東建ビル502
TEL/FAX: 03-6380-6380
E-Mail: info@orangeribbon.jp

昨年の受賞者のコメント

最優秀賞

北海道上川郡
多羽 勝さん



親子の愛情を感じさせる場面を想像したとき、真っ先に「抱っこ姿」が浮かびました。お母さんと子どもの二人だけに通じ合う愛情みtainもの「体温・心拍・匂い」をストレートに表現したつもりです。この絵を見た人が温かい気持ちになっていただければ幸いです。

最優秀賞という素晴らしい賞をいただき誠にありがとうございます。絵画やデザインとは全く掛け離れた仕事をしておりますので、評価の大きさにただただ恐縮しております。審査員の皆様に感謝申し上げますとともに、オレンジリボン運動にささやかながら参加できたことを光栄に存じます。

優秀賞

三重県四日市市
伊尾 明里さん



この度は優秀賞という素晴らしい賞をいただき誠にありがとうございます。わたしはこのポスターで多くの人にオレンジリボン運動の存在を知ってもらいたい、という気持ちで制作しました。そのために、人の目に留まり、心にのこるような、子どもの最高の笑顔を描きました。また、この子どもの笑顔と未来を守ってほしい、という思いを込めて描きました。

このポスターを見た人が、子どもを守りたいという気持ちになってくれたらいいなと思います。その思いが広がることで子ども達を救うことができたならとても嬉しいです。応援してくださった人々に感謝します。本当にありがとうございました。

優秀賞

兵庫県宝塚市
前田 真由美さん



この度は、素晴らしい賞をいただきありがとうございます。オレンジリボンポスターを通して、この活動に微力ながら貢献できることに、クリエイターとしてとても光栄に感じています。

虐待をしている多くが一番に子どもを守る筈の実際の父母であることに、子どもを持つ親として他人事ではありません。頻りに起こる悲しいニュースに「なぜ?」「どうにかならなかったの?」と心を痛めるばかりです。

「子どもを守るのは誰ですか?」という問いかけに社会全体として何かを感じ取ってもらえたら嬉しいです。